

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年9月4日(木)

1. 活動テーマ

<テーマ>

5歳児…「葉っぱで何ができるかな！」
～ゴーヤのカーテンでお家ごっこ！～

<テーマ設定理由>

・園庭のゴーヤが大小様々にかわいい実をつけて「ゴーヤの保育園みたいだね」と嬉しそうに伝えていた。日常の遊びの中で、そのゴーヤを使い「ゴーヤのお家」を空き箱で作りました。ベッドや台所などを作り、ゴーヤには丸シールで顔を作ると友達とゴーヤの人形を介して会話を楽しむ姿が見られた。今回はゴーヤのカーテンを保育室につるすと「お家作りみたい」「秘密基地にしよう」などの言葉から今回の活動に至った。

2. 活動スケジュール

- ・野菜の水やりを子ども達と行き、生長を観察する機会を持つ。
- ・ゴーヤを収穫し、数日かけて色の変化や香り、中を切って種の様子を観察する。
- ・大小様々なゴーヤの実を収穫し、空き箱で「ゴーヤのお家」を作ったり、お家の絵を描く活動を楽しむ。
- ・保育室にゴーヤのカーテンをそのまま吊るし「何ができるかな」と問いかけ、「お家ごっこをしよう」との言葉に活動に取り入れた。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・子ども達の作りたい物に合わせて、活動が楽しめるようにはさみ、テープ、空き箱、ペーパー芯などを準備する。
- ・ゴーヤのつる以外にも、園庭で育ててきた夏野菜の葉っぱや枝付きの葉っぱも子ども達と一緒にとって準備をする。
- ・ついたてやテーブルなどを出せるように用意しておく。
- ・お家のコーナーと製作コーナーを分けて環境を整え、危険のないようにする。

4. 探究活動での実践

<活動内容>

- ・ゴーヤのつるや葉っぱを使い「お家ごっこ」をして楽しむ。
- ・家に必要な物は自分で製作をしたり、飾ったりして楽しむ。
- ・身近な素材（空き箱、ペーパー芯、画用紙）を使い、お家に必要な物を製作する。
- ・友達と会話をしながらごっこ遊びをして楽しむ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



・つい立てに葉っぱを飾り「ピンポン作ろう」「ここは鍵を入れるところだよ」と伝えていた。葉を丸めて鍵を作っていた。
・葉っぱの鍵を持つと「ピンポン！入っていい？」「はい！葉っぱのトンネルから入ってください」とやりとりをしていた。

・テーブルにペーパー芯やラップの芯で花瓶を作る。「ここに飾ろう」とつるや茎を入れてみようとする。
・長い茎やつるをどうやったら飾れるか、自分なりに工夫している。つるは隣の花瓶につなげるようにして飾り付け満足したように「見て」と伝えていた。

・「お弁当作ろう」「何つめようか？」と作り始める。「パプリカおいしいよね」「晩御飯になるね」とやりとりしていた。
・葉っぱをつぶして「葉っぱをつぶしたから食べてみて」と友達にお弁当を渡す。香りをかいだ友達が「これって何味？」と聞いていた。

・友達と一緒に「ここにお風呂作ろう」と言い、水色の模造紙を置く。「お風呂で携帯みよう」と壁に葉っぱを飾っていた。
・枝付きに葉っぱを飾り「シャワー、ジャージャー」と身体や頭を洗う仕草をして楽しんでいた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子ども達はお家ごっこを通して「お家にはテレビがあるね」「お風呂もあるよ」と自分なりに試行錯誤しながらお家作りを楽しんでいた。
- ・葉っぱを様々な物に見立てて「インターホン」「鍵」、玄関には枝付きの葉っぱでトンネルを作り「なんだか秘密基地みたい」と遊びが広がっていた。
- ・導入では「お家には何があるかな」と問いかけると「テーブル」「テレビ」「棚」など身近な物の名前がどんでんできてきた。製作では、表現したいが「難しい」と伝える姿も見られて、保育士と一緒に「どうしていいかわからない」「これには何が必要かな」と進めていくことも大切に感じた。子どもの想像を形にしていく過程を保育士側の進め方、言葉のかけ方ひとつで変わるのだと感じた。
- ・身近な葉っぱで料理を楽しんだり、家の飾りになったり、実には、顔を描いて友達を作るなど、お家作りからどんどんと想像が膨らんでいて、また役になってごっこ遊びを楽しんでいた。これから夏から秋に変化していく葉っぱを「今度は何を作ろかな」「葉っぱは何色になるのかな」と楽しみにしている姿が見られた。